

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

|           |  | 作成年月日  | 平成 18年 3月30日   |      |
|-----------|--|--|--|------|
|           |  | 作成部署   | 土木建築部公園緑地課   |      |
| 事業名       | 都市公園施設整備事業   | 構想番号   | (土・公園) 構-18-1  |      |
|           |  | 地区名  | 京都市右京区嵯峨～西京区嵐山   |      |
| 概算事業費     | 5.5億円  | 事業期間   | 平成18年度～平成22年度  |      |
| 事業概要      | 嵐山公園のトイレ水洗化、園路バリアフリー化、案内標識、排水路等の整備   |  |  |      |
| 関連する公共事業  | 京都商工会議所創立120周年記念事業の一環の小倉百人一首記念館歌碑設置事業  |  |  |      |
| ガイドライン    |  | 施工地の環境特性と目標  | 環境配慮・環境創造のための措置内容  | 環境評価 |
|           | <p style="text-align: center;">主要な評価の視点</p>  |  |  |      |
| 地球環境・自然環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化 (CO<sub>2</sub>排出量等)</li> <li>地形・地質</li> <li>物質循環 (土砂移動)</li> <li>野生生物</li> <li>・絶滅危惧種</li> <li>生態系</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮すべき地形地質リストには該当しない。</li> <li>・レッドデータブックに掲載の水生生物が亀山地区周辺に生息する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地形の変更が最小になるよう設計に配慮する。</li> <li>・水辺付近を施工しない。チェックフロー図で該当無し</li> </ul>  | ○    |
| 生活環境      | <ul style="list-style-type: none"> <li>水環境・水循環</li> <li>大気環境</li> <li>土壌・地盤環境</li> <li>騒音・振動</li> <li>廃棄物・リサイクル</li> <li>化学物質</li> <li>粉塵</li> <li>電磁波・電波・日照</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地であるため、騒音、振動等に配慮する必要がある。</li> <li>・トイレが汲取り式のため利用が少なく、利用者ニーズに適していない。この改善のため、トイレを水洗化する。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音、振動等に配慮した設計を行うとともに施工時期にも配慮する。</li> <li>・障害者を含む利用者全てが、安全かつ快適に利用できる施設整備を行う。</li> </ul>   | ○    |
| 地域個性・文化環境 | <ul style="list-style-type: none"> <li>景観</li> <li>里山の保全</li> <li>地域の文化資産</li> <li>伝統的行祭事</li> <li>地域住民との協働</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的風土保全地区や風致地区に指定されており、建築及び地形改変に許可が必要</li> <li>・亀山地区の文化資産が紹介されておらず利用が少ない。</li> <li>・小倉百人一首歌碑設置事業等による文化拠点整備により、観光振興を図っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺景観への影響を低減させるとともに修景に配慮した設計とする。</li> <li>・案内標識の再整備により地域の文化資産を紹介し、利用促進を図る。</li> <li>・他事業とタイアップし、効率的に文化拠点の再整備を図り、観光振興に寄与する。</li> </ul> | ○    |
| 地域の環境像    | ◎地域は環境保全に配慮する必要がある景観地、文化遺産、観光地である。   |  |  |      |
| 特記事項      | ◎関係諸機関と充分協議するとともに、地元との十分な調整を行う。  |  |  |      |

※「環境評価」欄には、評価項目ごとの環境配慮の自己評価を記載する。(改善○、中立△、悪化×)